

資料 3

公共事業評価総括表

平成30年度公共事業(大規模等)事前評価総括表

整理番号	調書番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)	負担割合(%)				B/C	評価結果				摘要
										国	道	市町村	その他		一次政策評価		二次政策評価		
															方針	検討事項	方針	検討事項	
1	08-01	建設部	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	きたひろしま 総合運動公園線 (仮称)	北広島市	H32 (2020年)	H34 (2022年)	延長 L=2.8km 幅員 W=1.25+6.5+1.25m 道路工 L=2.5km、橋梁工 N=4	6,300	50.0%	50.0%	-	-	1.08	要望を行うことは妥当		要望を行うことは妥当		全員評価地区

※「事業着手年度」及び「事業完了年度」は、公共事業事前評価調査との整合を図るため、「平成(H)」表記とし、西暦を併記した。

◎公共事業評価専門委員会の審議を踏まえ、政策評価委員会として付した付帯意見

- (1) 当事業の実施に当たっては、関係する事業者等と協議の場を通じて密接に連携協議し、求められる事業の目的や公共性を確保するとともに、道民に対し十分な説明責任を果たすこと。
- (2) きたひろしま総合運動公園の整備等に大きな変更が生じた場合は、適宜、政策評価の対象とする。
- (3) 環境調査の結果を踏まえ、地形改変の影響を受ける希少な動植物は可能な限り移植等の保全措置を講じ、自然環境への負荷は最小限にとどめるよう配慮すること。
また、自然環境を監視する協議会等を設立し、保全措置の実行性を高めること。

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要
								直近 又は 当初	変更	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価		
														方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等	
1	建設部	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-01	おおあさひがしかりきせん 大麻東雁来線	江別市	大麻東雁来線は、江別市大麻の道央自動車道江別西ICから、札幌市東区東雁来の国道275号に至る10.6kmの幹線道路である。 このうち、江別西ICから道道東雁来江別線交点までの2.5kmの区間において、線形改良、4車線化及び歩道設置を行い、江別西ICへのアクセス向上及び安全で円滑な都市内交通の確保を図るもの。	H20 (2008)	R1 (2019)	R5 (2023)	2,850	1,140	3,186	1,274	継続 (変更無)		継続		審議地区
2	建設部	道路改築事業費 (特定道路事業交付金)	08-02	なよろえんべつせん 名寄遠別線	遠別町	名寄遠別線は、名寄市から幌加内町を經由し、遠別町に至る約90kmの路線である。 このうち、幌加内町と遠別町の境界から遠別町方面への交通不能区間7.8kmを結ぶ新たな道路整備により、物流の効率化や住民生活の利便性向上、地域間の連携強化を図るとともに、自然災害発生時における代替ルートの確保や周遊観光への支援を図るもの。	H22 (2010)	R3 (2021)	R7 (2025)	11,500	2,300	13,100	2,620	継続 (変更無)		継続		全員評価地区
3	建設部	大規模特定河川事業費・ 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-03	くしろがわ 釧路川	釧路市 釧路町	釧路川は、太平洋に注ぐ一級河川で、S61年の洪水やH5年、H6年の高潮により、家屋浸水など多大な被害が発生。 また、H25年には、支川の別保川においても、洪水により、家屋浸水の被害が発生。 このため、計画延長13.5kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、釧路市旭町地区、釧路町別保地区などの家屋5,967戸、農地5haの浸水被害を防止するもの。	H7 (1995)	R26 (2044)	変更無	31,336	10,445	39,905	13,302	継続 (変更無)		継続		審議地区
4	建設部	大規模特定河川事業費・ 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-04	クサンル川 カサノ川	稚内市	クサンル川は、宗谷湾に注ぐ二級河川で、H6年、H8年、H12年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長1.05kmの区間について、河積の拡大を行い、稚内市大黒地区などの家屋391戸の浸水被害を防止するもの。	H19 (2007)	R9 (2027)	R10 (2028)	4,500	2,025	6,327	2,847	継続 (変更無)		継続		専決地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要	
								直近 又は 当初	変更	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価			
														方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等		
5	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-05	いくたわをがわ 生田原川	遠軽町	生田原川は、湧別川水系湧別川に合流する一級河川で、S50年、S54年、S56年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長23.3kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、遠軽町生田原地区などの家屋29戸、農地216haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R5 (2023)	R14 (2032)	5,493	1,831	6,105	2,035	継続 (変更無)		継続			専決地区
6	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-06	ふしこべつがわ 伏古別川	帯広市	伏古別川は、十勝川水系十勝川に合流する一級河川で、H23年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長2.8kmの区間について、河積の拡大や排水ポンプ施設の整備を行い、帯広市北親地区などの家屋591戸、農地1haの浸水被害を防止するもの。	H26 (2014)	R10 (2028)	R14 (2032)	3,930	1,310	4,495	1,498	継続 (変更無)		継続			専決地区
7	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-07	みくにかわ 美国川	積丹町	美国川は、日本海に注ぐ二級河川で、H10年、H11年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長0.8kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、積丹町船瀬地区などの家屋294戸、農地2haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R1 (2019)	R4 (2022)	3,682	1,657	4,507	2,028	継続 (変更無)		継続			専決地区
8	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-08	しおどりがわ 汐泊川	函館市	汐泊川は、津軽海峡に注ぐ二級河川で、H7年、H10年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長7.5kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、函館市古川町地区などの家屋80戸、農地60haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R9 (2027)	R23 (2041)	7,000	3,150	7,823	3,520	継続 (変更無)		継続			専決地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要
								直近 又は 当初	変更	うち 道負担額 (百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価				
												方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等			
9	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-09	もことがわ 藻琴川	大空町	藻琴川は、オホーツク海に注ぐ二級河川で、H10年、H12年、H13年、H18年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長6.0kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、大空町東藻琴地区などの家屋2戸、農地61haの浸水被害を防止するもの。	H20 (2008)	H30 (2018)	R7 (2025)	880	396	1,614	726	継続 (変更無)		継続		審議地区
10	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-10	いしやまがわ 石山川	砂川市	石山川は、石狩川水系空知川に合流する一級河川で、S63年、H4年の洪水により家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長3.0kmの区間について、河積の拡大を行い、砂川市空知太地区などの家屋322戸、農地12haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	H30 (2018)	R4 (2022)	3,300	1,100	3,984	1,328	継続 (変更無)		継続		専決地区
11	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-11	なつちがわ ヌッチ川	余市町	ヌッチ川は、日本川に注ぐ二級河川で、S37年、S48年、S60年の洪水による浸水被害を受け、H2年より河川改修事業に着手。その後、H22年の洪水においても、浸水被害が発生。 このため、H25年に事業区間を延伸し、計画延長8.6kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、余市町沢町地区などの家屋463戸、農地80haの浸水被害を防止するもの。	H2 (1990)	R5 (2023)	R7 (2025)	6,700	3,015	8,254	3,714	継続 (変更無)		継続		専決地区
12	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-12	とぎわがわ 常盤川	函館市	常盤川は、津軽海峡に注ぐ二級河川で、H7年、H9年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長1.6kmの区間について、河積の拡大を行い、函館市桔梗地区の家屋279戸、農地4haの浸水被害を防止するもの。	H19 (2007)	R10 (2028)	R12 (2030)	3,596	1,618	3,886	1,749	継続 (変更無)		継続		専決地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要
								直近 又は 当初	変更	うち 道負担額 (百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価				
												方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等			
13	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-13	おおまつまえばがわ 大松前川	松前町	大松前川は、松前湾に注ぐ二級河川で、H17年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長0.71kmの区間について、河積の拡大を行い、松前町福山地区の家屋66戸の浸水被害を防止するもの。	H18 (2006)	H30 (2018)	R7 (2025)	900	405	1,078	485	継続 (変更無)		継続		専決地区
14	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-14	ユードロ沢川	留萌市	ユードロ沢川地区は、流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂・流木の流出が懸念される。 このため、留萌市大和田町地区の人家14戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H29 (2017)	R5 (2023)	140	70	437	219	継続 (変更無)		継続		専決地区
15	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-15	ことにはっさむがわ 琴似発寒川	札幌市	琴似発寒川地区は、H10年、H16年の豪雨により流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、札幌市中央区盤渓・西区西野地区の人家24,231戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、砂防堰堤改良工、溪流保全工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	R1 (2019)	R7 (2025)	1,290	645	1,661	831	継続 (変更無)		継続		専決地区
16	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-16	さんしんがわ 三新川	せたな町	三新川地区は、H22年の豪雨により山腹崩壊が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、せたな町大成区宮野の人家13戸などを保全するため、砂防設備(土石流堆積工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H28 (2016)	R4 (2022)	170	85	320	160	継続 (変更有)	砂防堰堤工 →土石流堆積工	継続		専決地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要
								直近 又は 当初	変更	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価		
														方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等	
17	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-17	ひがしほろかわがわ 東浜沢川	羽幌町	東浜沢川地区は、H22年の豪雨により土砂流出が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、羽幌町焼尻地区の人家9戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、渓流保全工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	R5 (2023)	250	125	519	260	継続 (変更無)		継続		専決地区
18	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-18	ふらののがわ 富良野川 (2号堰堤)	上富良野町	富良野川地区は、S37の噴火を契機に富良野川通常砂防事業に着手。 S62年に「十勝岳周辺泥流対策検討委員会」が設置され、「火山泥流対策基本計画」を策定。 上記に基づき、H1年より富良野川火山砂防事業に着手。 上富良野町、中富良野町の人家89戸などを保全するため、既設砂防設備(砂防堰堤工)の改良を行うもの。	H26 (2014)	R4 (2022)	R7 (2025)	4,644	2,090	6,804	3,062	継続 (変更有)	堤長L=258m →L=274m 堤高H=18.5m →h=18.0m	継続		審議地区
19	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-19	べべつがわ 辺別川	美瑛町	辺別川地区は、H18年、H19年の豪雨により流域内の荒廃が進行し、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、美瑛町朗根内地区・依真布地区の人家29戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤改良工、流木捕捉工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	R1 (2019)	R5 (2023)	1,680	756	2,090	941	継続 (変更無)		継続		専決地区
20	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-20	もりまちこうく 森町工区	森町	森町地区は、H8年に駒ヶ岳が噴火し、同年の豪雨により土石流が発生。 また、H10年、H12年にも噴火しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、森町尾白内地区の人家215戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、導流工、道流堤)の整備を行うもの。	H12 (2000)	R1 (2019)	R6 (2024)	2,726	1,227	2,962	1,333	継続 (変更無)		継続		専決地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要	
								直近 又は 当初	変更	うち 道負担額 (百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価					
												方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等				
21	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-21	砂原町工区	森町	砂原町地区は、H8年に駒ヶ岳が噴火し、同年の豪雨により土砂流が発生。 また、H10年、H12年にも噴火しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、森町(旧砂原町)の人家890戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、導流工、道流堤)の整備を行うもの。	H12 (2000)	R10 (2028)	R15 (2033)	15,469	6,961	16,595	7,468	継続 (変更無)		継続			専決地区
22	建設部	総合流域防災事業(砂防)費 (社会資本整備総合交付金)	08-22	シカノ沢川	小樽市	シカノ沢川地区は、流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂・流木の流出が懸念される。 このため、小樽市朝里地区の人家7戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、渓流保全工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	R3 (2021)	210	105	463	232	継続 (変更無)		継続			専決地区
23	建設部	地すべり対策事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-23	緑町	紋別市	緑町地区の斜面では、段差地形や樹木の傾倒等を確認。 また、地下水が豊富で各所に湧水や湿地があるため、融雪水や豪雨による斜面の不安定化が懸念される。 このため、紋別市緑町地区の人家121戸などを保全するため、地すべり対策施設(集水井工、水路工、頭部排土工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	R5 (2023)	変更無	950	475	1,072	536	継続 (変更無)		継続			専決地区
24	建設部	総合流域防災事業(急傾斜)費 (社会資本整備総合交付金)	08-24	小樽梅ヶ枝2	小樽市	小樽梅ヶ枝2地区は、H22年の大雨により斜面崩壊が発生。 このため、小樽市梅ヶ枝2地区の人家13戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、地山補強土工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H29 (2017)	R3 (2021)	215	129	400	232	継続 (変更有)	土留柵工 (区間延長) L=194m →L=170m	継続			審議地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要	
								直近 又は 当初	変更	うち 道負担額 (百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価					
												方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等				
25	建設部	急傾斜地崩壊対策事業費 (事業間連携砂防等事業(補助))	08-25	みなみかわべつぐみ 南茅部川汲	函館市	南茅部川汲地区は、H10年の台風より、斜面崩壊が発生。また、H19年の豪雨においても、斜面崩壊が発生し、斜面の不安定化が進行。このため、函館市川汲地区の人家56戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、プレキャスト法砕工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	H30 (2018)	R4 (2022)	800	470	950	519	継続 (変更有)	土留柵工 (区間延長) L=792m →L=780m	継続			専決 地区
26	建設部	急傾斜地崩壊対策事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-26	むらんぼこい 室蘭母恋 きたまち 北町3-1	室蘭市	室蘭母恋北町3-1地区は、H13年に隣接する母恋北町地区において、斜面崩壊より人家などの被害が発生。このため、室蘭市母恋北町2、3丁目の人家21戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、地山補強土工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	H28 (2016)	R3 (2021)	800	428	870	466	継続 (変更有)	土留柵工 (区間延長) L=450m →L=356m	継続			専決 地区
27	建設部	海岸浸食対策費 (社会資本整備総合交付金)	08-27	こじょうはまかいがみ 虎杖浜海岸	白老町	虎杖浜海岸は、砂浜の浸食が著しく、台風や低気圧の接近時には、背後の人家等に越波、浸水被害が発生。このため、離岸堤の施設整備を行い、家屋等304戸を保全するもの。	H26 (2014)	R5 (2023)	R11 (2029)	3,230	1,454	5,390	2,426	継続 (変更無)		継続			審議 地区
28	建設部	都市計画街路事業費 (防災・安全交付金)	08-28	ぶんきょうどう 3・4・47文教通	函館市	文教通は、函館市中心部から日吉町、高丘町、戸倉町などの市街地を通り、函館空港や恵山方面を結ぶ幹線街路であるが、急勾配・狭小幅員であり、安全な通行に支障をきたしている。このため、L=2.1kmの区間において、道路(2車線・両側自歩道)の新設整備を行うもの。	H19 (2007)	R1 (2019)	R5 (2023)	9,530	3,812	11,673	4,669	継続 (変更有)	【計画】L=2.0km →L=2.1km 橋梁N=2橋 →N=3橋	継続			専決 地区

令和元年度公共事業再評価総括表

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	ふりがな 地区名	市町村名	事業概要等	事業 着手 年度	完了 予定 年度		総事業費 (直近 又は 当初)		総事業費 (変更)		評価結果				摘要
								直近 又は 当初	変更	うち 道負担額 (百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一次政策評価		二次政策評価				
												方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等			
29	建設部	都市計画街路事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-29	3・6・82臨空工業 団地通	函館市	臨空工業団地通は、臨空工業団地と函館空港・函館港との物流及び地域の生活を支える重要性の高い路線であるが、現道は急勾配・急カーブであり、大型車のスリップの危険性が指摘されてきた。 このため、L=1.7kmの区間において、道路改良を行い、臨空工業団地から函館空港・函館港への物流の効率化及びリダンダンシーの強化を図るもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	R3 (2021)	4,900	1,960	3,984	1,594	継続 (変更無)		継続		審議 地区